

市長さん、「歳入」が昨年と比べてどうなったかを教えてください。

はい。いいですよ。

歳入全体のうち1/3が「自主財源」、2/3が「依存財源」という構成になっています。

そのうち、「市税」は固定資産税の伸びなどの影響で1.5%増えており、「分担金・負担金」は、昨年10月からの幼児教育無償化の影響で37.9%減っています。

また「市債」は、昨年度の途中から継続して実施している大規模な工事（新庁舎や民俗伝統芸能伝承館の建設など）が本格化したため78.9%増えています。

「歳出」の中で一番多い「民生費」について教えてください。

「民生費」は、高齢者・障がい者の福祉対策や子育て支援など、社会保障のために使われている経費です。



他の「歳出」についても教えてください。

「総務費」では、日奈久・二見・鏡沿岸地区への超高速ブロードバンド整備経費など。「農業水産費」では、八代産の豊表の需要拡大のための経費などがあります。

「消防費」では、継続中の防災行政無線整備経費（災害時に市民の皆さんへ適切な情報提供をするもの）など。「教育費」では、ICT授業のサポート経費などがあります。右に「八代市重点戦略」に沿った主な内容を掲載しています。

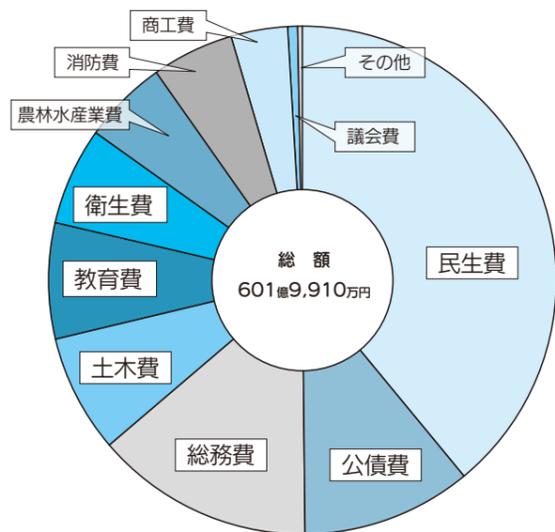
予算について、ますます興味が沸いてきました。

市ホームページでも内容を確認できますので見てみてくださいね。



はい。見てみます。ありがとうございます。

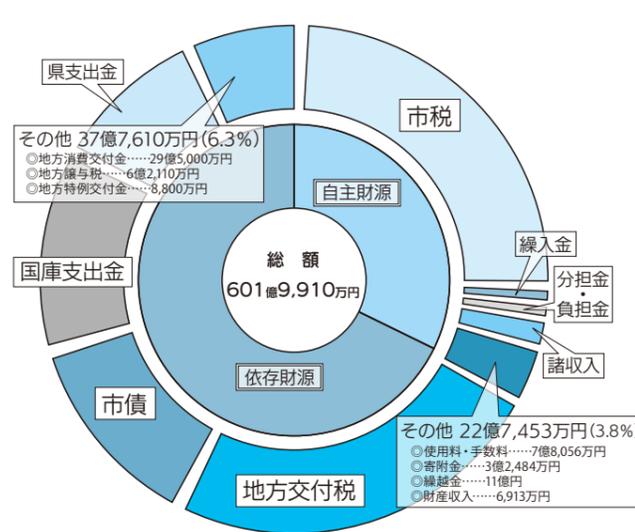
一般会計 歳出の構成



歳出の種類	金額	割合	内容	前年対比
民生費	237億7,368万円	39.5%	社会福祉や児童福祉などの経費	1.7%
公債費	62億5,226万円	10.4%	借入したお金の返済経費	0.9%
総務費	80億9,167万円	13.5%	市役所の全体的な仕事の経費	45.5%
土木費	47億 549万円	7.8%	各種公共施設の整備などの経費	△1.8%
教育費	46億5,299万円	7.7%	学校教育・社会教育などの経費	12.1%
衛生費	38億6,323万円	6.4%	医療や環境保全などの経費	5.5%
農林水産費	31億9,625万円	5.3%	農林水産業の振興や普及の経費	9.3%
消防費	31億 904万円	5.2%	防災・消防・救急・災害対策の経費	11.3%
商工費	19億9,117万円	3.3%	商工業・観光産業の振興などの経費	8.4%
議会費	3億7,417万円	0.6%	市議会の通常経費	1.6%
その他	1億8,915万円	0.3%	ほかの支出に含まれない経費	22.0%
合計	601億9,910万円	100%		7.9%

※ 各区分の計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は合計と一致しない場合があります。

一般会計 歳入の構成



歳入の種類	金額	割合	内容	前年対比
自主財源	197億760万円	32.7%		△0.1%
市税	156億5,892万円	26.0%	市民税や固定資産税など	1.5%
繰入金	4億4,033万円	0.7%	積立金の取り崩し	10.2%
分担金・負担金	3億8,847万円	0.6%	保育料など	△37.9%
諸収入	9億4,535万円	1.6%	延滞金、預金利子、雑入など	△2.8%
その他	22億7,453万円	3.8%	寄附金、前年度からの繰越金など	△1.4%
依存財源	404億9,150万円	67.3%		12.2%
地方交付税	147億3,800万円	24.5%	国から一定の基準で交付	0.3%
市債	77億4,870万円	12.9%	国や金融機関などからの借入れ	78.9%
国庫支出金	91億3,420万円	15.2%	国から必要に応じて交付	9.2%
県支出金	50億9,450万円	8.4%	県から必要に応じて交付	6.9%
その他	37億7,610万円	6.3%	国から配分される地方消費税など	△4.0%
合計	601億9,910万円	100.0%		7.9%

※ 各区分の計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は合計と一致しない場合があります。

令和2年度の予算について

令和2年度の八代市の予算総額は、**1,027億8,792万円** となりました

問合せ 財政課 ☎33-4106

「市の予算」は、家庭でいうと、年間の家計を予想し、収入や出費の予定を立てるようなものです。歳入は「収入」、歳出は「出費」と言い換えることができます。市の予算も家計と同じように限度があるため、きちんとした計画や方針に基づいて運用しています。八代市では、健全な財政運営を維持しながら財源の確保に努め、将来にわたって安定的なものとなるよう着実な取り組みを進めていきます。

一般会計 601億9,910万円 (対前年度比 +7.9%)
行政運営の基本的な経費となる会計です

特別会計 341億7,548万円 (対前年度比 △0.8%)
特定の目的のために事業を行う会計です

企業会計 84億1,334万円 (対前年度比 +9.9%)
事業で収益を上げて独自に運営する会計です



かわまちづくり推進事業
球磨川運送環の下流左岸の河川空間を活用し、地域の活性化と交流の促進を図るため、「運送環の字広場」を整備し、令和2年8月のオープンを目指しています。



ICT授業サポート事業
教職員へのICT機器の操作研修・指導、ICT機器を活用した教材作成や授業のサポートを行うため、ICT授業サポーター4人による小中学校への巡回訪問を行います。

その他拡充事業の主なもの

③誰もが幸せを実感できる暮らしの実現



放課後児童健全育成事業
「放課後児童クラブ」の公設クラブを、29から35クラブへ拡充し、公設の要件を満たす全てのクラブに対して、委託事業を進めていきます。

⑥市民意識調査結果による優先取組み



商店街活性化事業
商店街が実施するソフト事業、空き店舗を活用した事業、新規出店を支援し、商店街の魅力や集客力の向上、売り上げの増加を図っていきます。

②経済の浮揚と雇用・交流人口増によるにぎわいの創出



民俗伝統芸能伝承館（仮称）整備事業
八代妙見祭をはじめとする市内各地の無形民俗文化財の保存継承と交流促進を目指した情報発信拠点として、厚生会館の敷地内に令和3年の開館を目指しています。

⑤誇るべきふるさとを未来につなぐ



広報広聴活動事業
広聴事業として、2年に1回開催する「市政懇談会」を行います。

①農林水産業の更なる振興



八代産豊表認知向上・需要拡大事業
国産豊表のシェア拡大を目的に、豊関連事業者と官民連携で令和元年度に設立した「八代産豊表認知向上・需要拡大推進協議会」を中心に、さらなる八代産豊表のPRを図ります。

④安全・安心で魅力ある都市を築く



新庁舎建設事業
令和元年11月の起工式以後、安全・品質管理のもと、令和3年度内の完成・開庁を目指して工事を進めていきます。

第2次八代市総合計画に基づく「八代市重点戦略」の主なもの